電　波　新　聞
2025年(令和7年)3月31日(月曜日)

電波新聞

日系はんだメーカー初

ニホンゲンマがインドで生産

現地取引会社に設備投資

月産3㌧でスタート　数年後に30㌧規模へ

ニホンゲンマは、インドの取引会社・KHANNA TRADERS AND ENGINEERS（4月1日からKHANNA BOND SOLDER MANUFACTURERS PVT LTDに社名変更）が工場で設備投資を行い、ニホンゲンマブランドではんだ粉末、フラックスの生産を開始することを明らかにした。日系のはんだメーカーでは初となる取り組みで、4月から本格稼働する。インドでの需要の拡大を受け、マレーシアで対応していたものを現地で生産し、対応力を強化する。

生産する現地の工場はウッタル・プラデーシュ州のグレーター・ノイダにある産業集積エリアに立地。現地社が工場内に設備を導入し、ペーストはんだを現地で生産する。ニホンゲンマは、現地社に対し20年以上前から技術指導や営業サポートを行っていた。

生産ラインは昨年末に完成。現在はパイロットラインとして稼働している状況。調整が終了次第、ラインを本格稼働させる予定。月産3㌧からスタートし、年36㌧の生産能力を目指す。その後、月10㌧規模での生産を目指し、数年後には10倍となる30㌧の規模の生産能力に拡大し現地ニーズに対応する。ニホンゲンマブランドで展開し、1機種からスタート。生産できる機種も順次拡大する。

インドでは日系メーカーの進出が増えており、サポートしてほしいというニーズが高まっていた。現地生産で価格競争力を強め、サポート力を高めるとともにシェアも拡大する。

知名度を高めるために、現地社では現地の展示会に出展を予定。ニホンゲンマブランド品を展示し、アピールを強化する。

現地のインド工場

現地社では現地の展示会で出展を予定（過去の展示会）